平成25年8月　　【大宮公民館だより・大宮地区社協だより合併号】

コミュニティ大宮だより

絆 きずな

No.5

右は昭和15年頃、皇宮屋の祭りで六月踊りを奉納した時の記念写真です。
六月踊りは、別名「皇宮屋小臼太鼓踊」とも言われ、平和の塔建設時の起工式や落成式に下北方の若い娘さんたちが特訓に特訓を重ね踊りで式典に華を添えたそうです。

平成25年4月28日、下北春神楽で六月踊りを奉納する大宮小の児童。
毎年大宮小の児童に保存会の方々が演舞指導を行い、運動会で成果を披露しています。
六月踊りは、「ツンカナナン」の鉦の音とともに地域の方々に親しまれており、宮崎市の無形文化財に指定されております。

2～ 8ページ ：大宮地域まちづくり推進委員会
9～11ページ ：大宮公民館
12～14ページ ：大宮地区社会福祉協議会
15～16ページ ：特別寄稿「生き物たちから学ぶこと」
【徒然草】 【編集後記】

発行人：林田　光雄　編集責任者：山口　泰孝　大宮地域まちづくり推進委員会事務局（TEL:31-3433）
宮崎市立大宮公民館（TEL:20-3509）
大宮地区社会福祉協議会　事務局（TEL:29-3791）

大宮地域まちづくり推進委員会は、地域の問題解決を図るため、宮崎市地域コミュニティ活動交付金を活用しながら、大宮地域協議会と連携して、まちづくり活動を行っています。

大宮地域まちづくり推進委員会

5年目を迎えた大宮地域まちづくり活動

大宮地域まちづくり推進委員会　会長　林田　光雄

平素は大宮地域まちづくり推進委員会の活動に、ご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。
早いもので今年は大宮地域まちづくり推進委員会が設立されて5年目を迎えました。
平成21年6月、地域自治区が東大宮、大宮に2分割されたことにより、まちづくり委員会も分割され、同年6月大宮地域まちづくり推進委員会設立の総会が開催されました。
この設立総会から「大宮地域まちづくり推進委員会」がスタートしております。
この後、大宮地域のまちづくり活動の基本的な考えが、設立総会やその前後で開催された地縁団体との準備会議で協議されました。
その結果、大宮地域まちづくりの活動方針を、

『みんなが安心して暮らせる明るく住みよいコミュニティ大宮』

と称し、公民館、地区社会福祉協議会、自治会、老人クラブ、PTA等地域で活動している団体にも参加をお願いし活動を開始しました。
大宮地域まちづくり推進委員会は、当初5つの部会で活動しておりましたが、総務・広報部会を新設し、また学校・地域社会連携部会を、地域文化部会と学校支援部会に分離し、7部会となり、約130名の方々が各部会で活動されております。（下記の組織図を参照ください。）
各部会の活動は、自治会を通じた回覧、チラシの配布、ネット（宮崎市HP、まいぷれHP）等で広報しております。いずれの事業も地域住民が主体となり、明るく住みよいまちづくりを推進するための活動です。
平成25年度は、下表の21の事業を計画しており、部会ごとに、事業の具体化と活動を進めています。
また大宮地域まちづくり推進委員会では、事業に参加するだけでなく、主体的に事業を計画したり、推進したいと希望される方を募集しています。
大宮地域の住民であれば、どなたでも推進委員会に参加できます。事務局までご連絡下さい。

平成25年度 大宮地域まちづくり推進委員会組織図・事業計画

会長 ― 役員会（事務局・監事）

部会	事業
防犯・防災部会	総合防災訓練事業 安全・安心の防犯パトロール事業 とっさの時の安心ネットワーク事業
地域福祉部会	高齢者福祉講習会事業 安心カード推進事業 ふれあい茶話会事業
環境保全部会	地域の憩いの場、水辺づくり事業
スポーツ・健康部会	大宮地区スポーツ・健康フェスタ実施事業 大宮地区ウォーキング大会実施事業 宮崎市地区対抗駅伝大会参加事業 大宮地区グラウンドゴルフ大会実施事業
地域文化部会	地域まちづくりの歴史書の作成事業 地域の伝統芸能「神楽面と歴史」の解説書作成事業 「六月踊り」「宮崎城址音頭」の小学生への支援事業 遺跡の解説看板設置事業
学校支援部会	学校への支援事業 「あいさつ通り」の立看板の設置事業 「新成人」に対するまちづくり啓発事業
総務・広報部会	広報誌の発行事業 リーダー育成事業 地域魅力発信プラン支援事業

大宮地域まちづくり推進委員会

防犯・防災部会

総合防災訓練事業

訓練の合図で避難（花ヶ島ブロック）

避難者の安否確認（神宮東）

担架組み立てと負傷者搬送訓練（下北南）

防災倉庫の機材操作訓練（下北南）

煙体験ハウスで火事の恐怖を体験（花ヶ島ブロック）

起震車体験（花ヶ島ブロック）

訓練の後、地区合同の防災会議（池内小校区ブロック）

図上訓練で災害の予想と対処、避難の場所経路を確認（神宮北）

とっさの時の安心ネットワーク事業

今回は、困ったときの対処と連絡先を掲載しています。
保存版としてご活用下さい。

ソナエあれば、ウレイなし

みんなが安心して暮らせる
明るく住みよいコミュニティ大宮
大宮地域まちづくり推進委員会
防犯・防災部会

保存版

もしもの時（地震だ！⇒津波だ！）

- （揺れが収まってから 底の厚い靴を履く）
- TV、ラジオから情報の収集（津波は？ 避難指示？）
- 避難時はブレーカーを落す
- わが家の避難所・・・（ ）
- 家族の集合場所・・・（ ）
- 災害、避難の緊急連絡先・・・（ ）
- 自主避難（自主的に判断し、避難したいとき）地域事務所（☎26－1120）へ連絡下さい
- 避難勧告（危険があり、市長が立ち退きをすすめる）消防、市、報道機関より「お知らせ」
- 避難指示（危険が切迫し、市長が立ち退きを指示）消防、市、報道機関より「お知らせ」

災害で連絡がとれない：災害用伝言ダイヤル

伝言の「録音」	「171」	録音「1」	電話番号
伝言の「再生」	「171」	再生「2」	電話番号

体調がおかしい！

- 小児救急医療電話相談・・・☎：#8000 または
  毎日 午後7時～午後11時 ☎：35-8855
- 休日当番医電話案内（録音）・・☎：35-7111
- 夜間急病センター・・・・・・・・・・・☎：23-3119
  診療科目：内科、外科、小児科
  診療時間：毎日 午後7時から午前7時
- 重病、緊急事態（救急車）・・・・・☎：119

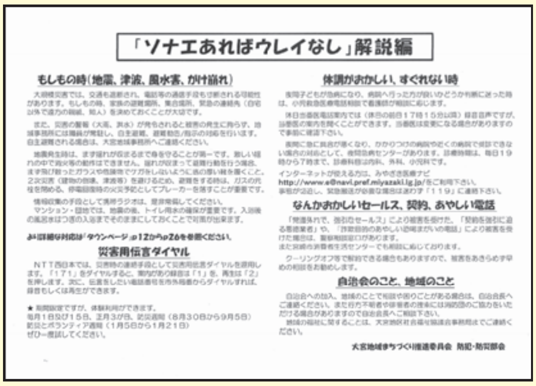
なんかおかしいセールス、契約、電話

- 振り込め詐欺
- おれおれ詐欺
- 悪質商法

宮崎北警察署：☎27-0110
または市消費者生活センター
：☎21-1755

自治会とか地域のこと

- 自治会長（ ）☎：
  副会長（ ）☎：
  （ ）☎：
  （ ）☎：
- 大宮地区社会福祉協議会・・・☎：29-3791
- 消防団 出動要請は自治会長経由



「ソナエあればウレイなし」解説編

もしもの時（地震、津波、風水害、がけ崩れ）

体調がおかしい、すぐれない時

災害用伝言ダイヤル

なんかおかしいセールス、契約、あやしい電話

自治会のこと、地域のこと

大宮地域まちづくり推進委員会 防犯・防災部会

安全・安心のパトロール事業

地区子ども会で見守り隊の紹介（大宮小）

パトロール隊にジャンパーを配布

見守り隊との対面式（池内小）

青少協と共催の夜のパトロール

大宮地域まちづくり推進委員会

地域福祉部会

高齢者福祉講習会事業

井上雅文病院長による講演
「認知症とその予防」を開催しました。

高齢者や介護をされている多くの方々に参加をしていただきました。

大宮中学校吹奏楽部によるすばらしい演奏で会場の雰囲気を盛り上げていただきました。

安心カード推進事業

平成22年に開始した「安心カード」は、
広報と配布を継続しています。
新聞にも紹介されました。
必要とされる方に配布しています。

福祉マップ推進事業

病院、介護施設、学校、幼稚園の他に、公共施設災害時の避難場所を地図上に記載し、緊急時に利用できるようにしました。
手元に保管しご活用ください。

ふれあいサロン（茶話会）事業

まちづくり推進委員会と地区社協との共催事業で、高齢者が歩いて行ける範囲の公民館、集会所、個人住宅などでサロン（茶話会）を開催されるグループの立ち上げを支援します。（平和が丘　ふれあいサロン矢口池）

サロン（茶話会）は、地域の高齢者や障がいのある方、閉じこもり、孤立しがちな方々にも気軽に来ていただき、仲間づくりを進めるとともに、世代を越えて子どもたちとの交流を進めることを目的にしています。
（平和が丘　ふれあいサロン矢口池）

大宮地域まちづくり推進委員会

スポーツ・健康部会

大宮地区スポーツ・健康フェスタ実施事業

金魚すくい

血管伸展性検査

骨密度検査

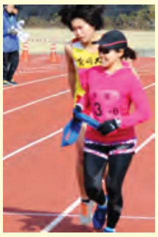
検査の後、カローリングに挑戦

古賀総合病院スタッフの参加・協力を得て、各種健康診断、健康相談を行いました。

子どもたちから高齢者まで幅広い世代の交流の機会となりました。

ジャグリング

宮崎市地区対抗駅伝大会参加事業



スタート

小学生から地域選手まで
必死にタスキをつなぎました。

ガンバレー

必死に激走してゴール

「おつかれ～」で有名な大宮中陸上部いやしの応援団

今年は、平成26年1月19日
大会実施予定です。
優勝を目指します。
皆さん応援に来て下さい。

大宮地区グラウンドゴルフ大会実施事業

2月寒い時期にもかかわらず多くの方が参加されました。

みんな笑顔でワイワイなごやかに
でも勝負は真剣に

大宮地区ウォーキング大会実施事業

昨年は雨で中止でした。今年は10月20日実施の予定です。

大宮地域まちづくり推進委員会

地域文化部会

大宮小学校校舎記念碑の解説看板の設置事業

児童代表、校長先生、地元自治会、まちづくり委員会（地域文化部会）のみなさんと除幕式を行いました。

校門の入り口西側にあります。機会がありましたら是非ご覧ください。

大宮小学校は明治25年に仮校舎で創立され、10年後（明治35年）に新校舎が完成しました。記念碑はその経過が記載されていますが、漢文で書かれており、理解が難しいものでした。今回、在学児童にも学校や地域の歴史を理解できるよう解説看板を設置しました。

「六月踊り」「宮崎城址音頭」の小学生への支援事業

「六月踊り」保存会の指導をいただき運動会で成果を披露する大宮小児童

下北春神楽で「六月踊り」を披露する大宮小の児童

保存会のみなさんも一緒に踊りました。
伝統が引き継がれていることに感動いたしました。

「宮崎城址音頭」を踊る池内小の児童

「六月踊り保存会」の方々に伝統の頭鉦、下鉦や唄を披露いただき、一層盛り上がりました。

地域まちづくりの歴史書の作成事業

大宮の歴史を調べ、町の成り立ちと変遷をまとめ、小学生にも理解できる歴史書を作成しています。

「神楽面と歴史」について東大宮と共同で調査しています。

一の鳥居（大正末）

南九大から皇宮屋方向を見る。（昭和11年）

下北春神楽「鬼神の舞」

大宮地域まちづくり推進委員会

学校支援部会

学校への支援事業

地域ボランティアと児童の「ふれあい会食会」（池内小学校）

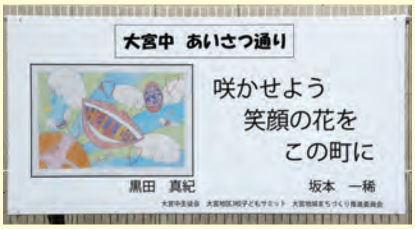
学校の垣根を剪定（大宮小）

学校支援部会はボランティアを支援しています。

「あいさつ通り」の看板設置事業

大宮小の［あいさつ通り］看板

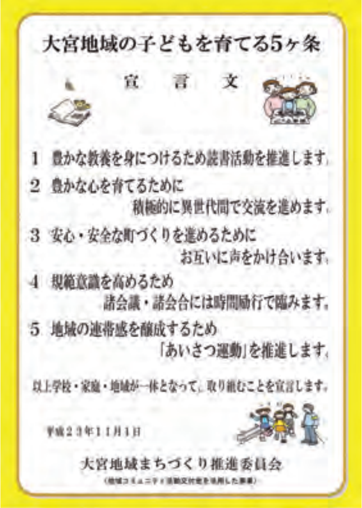
池内小の［あいさつ通り］看板



大宮中の「あいさつ通り」看板

「あいさつ通り」の設定と看板設置は、児童生徒と地域住民があいさつを交わすことで、地域の交流の輪が広がることを期待しています。

各校の児童会、生徒会、3校子どもサミット、まちづくり推進委員会の共同推進事業です。



大宮地域の子どもを育てる5ヶ条

宣　言　文

1　豊かな教養を身につけるため読書活動を推進します。
2　豊かな心を育てるために積極的に異世代間で交流を進めます。
3　安心・安全な町づくりを進めるためにお互いに声をかけ合います。
4　規範意識を高めるため諸会議・諸会合には時間励行で臨みます。
5　地域の連帯感を醸成するため「あいさつ運動」を推進します。

以上学校・家庭・地域が一体となって、取り組むことを宣言します。

平成23年11月1日

大宮地域まちづくり推進委員会

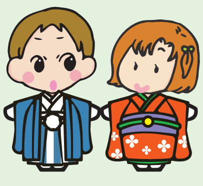
「あいさつ通り」は大宮地域の子どもを育てる5ヶ条を実現する施策の一つです。

「新成人」に対するまちづくり啓発事業

成人式に参加する「新成人」を対象に、まちづくり活動を啓発する事業として、アンケートを実施するとともに式の記念写真を贈呈しています。ご家族からも、お礼の電話をいただきました。

手話を交えた合唱で成人式を盛り上げてくれました。（池内小児童）

色鮮やかな衣装とハツラツとしたダンスで先輩の成人をお祝いしました。（大宮小児童）



大宮中と佐土原中の吹奏楽部が、すばらしい演奏で成人式を盛り上げてくれました。

大宮地域まちづくり推進委員会

環境保全部会

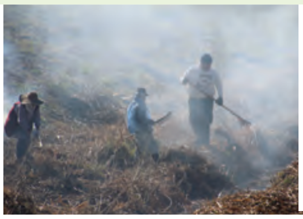
地域の憩いの場、水辺づくり事業

護岸の草刈りやゴミの除去を行い、魚が泳ぎホタルの飛び交う「新別府川」にしたいとの篤い思いで事業を進めています。

平成24年10月の清掃

川面の見える新別府川に蘇りました。

平成25年2月の清掃



平成21年から年2回行っています。
事業を実施する場合は自治会を経由して回覧を配布します。 次回は是非ご参加ください。

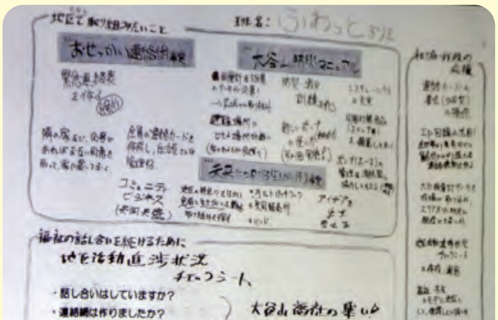
総務・広報部会

リーダー育成事業（毎年回覧で公募しています）

将来、大宮地域のリーダーを担っていただける方を募集し、昨年は、社会福祉の先進地である熊本県阿蘇郡南小国町を訪問、研修を行いました。

研修に、参加いただいた方々

研修は、包括支援センター、居宅介護施設、福祉サービスを併設した「りんどう荘」で行われ、南小国町社会福祉協議会の方に説明をいただき意見交換を行いました。



地域の意見を集約しながら活動を進めているとの説明でした。

「りんどう荘」に併設された居宅介護施設

大宮地区社会福祉協議会

〒880-0035　宮崎市下北方町下郷6101
TEL：0985-29-3791・FAX：0985-29-3791

ともに助けあい 支えあう 福祉のまち 大宮

平成25年度大宮地区社会福祉協議会総会開催

社協設立6年目に入りました。総会では、「地域住民の思いに応える活動」、「活動の成果と課題を見つめ、課題解決に向けた工夫改善に努める姿勢」、「関係機関や団体、地域住民が一体となった取り組み」を、今後も大宮地区福祉活動推進の基本理念として確認するとともに、下記のとおり25年度の各種事業等の活動計画が決定されました。

特に本年度は、少子高齢化の進展等の中で「地域(自治会単位)における福祉活動」推進の重要性を踏まえ、地域の福祉課題の把握、見守り活動、ふれあい・交流活動、生活支援活動、子どもの福祉の心育成等への各地域の主体的な取り組みの支援に努めてまいります。

本年度も地域住民の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

平成25年度の活動計画を紹介します

総合福祉部

- 広報紙の発行（合同紙含3回）
- 福祉懇談会実施推進
- ふれあい会食会実施推進
- ふれあい茶話会・サロン実施推進
- 福祉協力員研修会（5年表彰）
- 安心カード・福祉マップ活用実態調査
- 事業実施時の保健師派遣による救護所開設

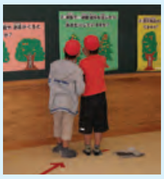
＊スポーツ・健康フェスタへの参加呼びかけ、協力

高齢・民生福祉部

- 福祉懇談会開催支援
- ふれあい茶話会・サロンの活動支援
- ふれあい会食会開催支援
- 大宮地域高齢者グラウンドゴルフ大会の開催
- 高齢者福祉講習会
- 高齢者等生活支援モデル育成事業
- 高齢者等生活支援活動助成
- 安心カード事業

こども福祉部

- 学校活動への参加
  福祉体験教室等の開催
- 交流活動やボランティア活動への助成
- 子育て語ろう会・遊ぼう会（仮）の開催



※写真は平成２４年度の活動の様子です。

主な事業のスケジュール予定

事業＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
広報紙の発行（合同紙含）					発行				発行			発行
福祉懇談会 ふれあい会食会 ふれあい茶話会・サロン 生活支援モデル育成・支援 安心カード事業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
福祉協力員研修会								実施 16(土)				
高齢者福祉講習会							実施 12(土)					
グラウンドゴルフ大会							開催期日検討中					
福祉体験教室								開催 24(日)				
子育て語ろう会･遊ぼう会（仮）						開催期日検討中						

＊事業開催については回覧、ポスター、案内状等でお知らせいたします。

大宮地区社会福祉協議会

平成25年度総会時に研修会を開催：「地域における福祉活動」事例発表
『高齢化に対応した福祉活動への取組み』平和が丘自治会

大宮地区の中でも高齢化率が約40％と高い平和が丘自治会では、今後、日常生活に困難や不安を感じる住民の増加が予想されることから平成22年度より「高齢者等の生活支援活動」に計画的な取り組みをしております。

生活支援の実態調査を行い、取り組むべき課題を明らかにし、日常的な生活支援はもとより、交流機会の提供等に力を入れてきました。

・福祉連絡協議会（福祉懇談会）	年４回実施
・ふれあいサロン	現在３ヶ所活動中
・ふれあい会食会	年４回実施
・非常時の支援体制の整備	災害時の支援マップ作成
・地域の環境整備	公園整備ボランティア活動推進（花づくり活動への参加）
・年末・年始生活支援活動	庭木の剪定・家の片づけ等

福祉向上への取組みは、高齢化が一段と進む私たち自治会の避けられない課題であり、今後も積極的に取り組んでいきたい。と、力強い言葉で結ばれました。

平和が丘自治会活動5つのとりくみ
1 住みよい地域づくりへのとりくみ
（地域連帯意識の向上）
2 美しいまちづくりへのとりくみ
（住環境の整備）
3 ふるさとづくりへのとりくみ
（青少年の健全育成）
4 助け合い活動へのとりくみ
（防犯･防災意識の向上）
5 思いやりへのとりくみ
（地域福祉の向上）

地域での主体的な取り組みを!!

♪ふれあい会食会♪

仲間づくり、閉じこもり防止、介護予防の推進を目的としています。

近隣の自治会が合同で実施されているところもあります。内容、参加者数、方法等が不明でお困りの場合は事務局までお問い合わせください。可能な範囲で開催できるよう支援を行います。

会場での楽しそうな会話と笑い声にスタッフも元気をもらいますよ！

･粘土細工に挑戦

･七夕飾り作り

･おいしいお弁当と手作りお団子､そしてかわいい置物も･･♪

☆福祉懇談会☆

今年度こそ全地域開催を目標に取組んでいただいております。

近隣の自治会との合同による実施や、「福祉懇談会」という名称にこだわらず地域の皆さんが集まる機会を利用して福祉課題を明確にし、情報の共有等の取組みを是非全ての自治会で実施していただきますようお願いいたします。

･2自治会による合同福祉懇談会

♡サロン開催♡

お茶飲み会から始めませんか？

月１回程度、誰でも気軽にお茶を飲みながらお話をしたり、好きなことをしながら交流を深める場をつくりませんか。

補助金申請や登録などお気軽に事務局にお問い合わせください。

･サロンの皆さん

★福祉協力員さんの活動について民生委員さんに教えていただきました★

私の担当区域の福祉協力員の活動を紹介します。単に民生委員の補助をしていただけるだけでなく､自ら受け持ちの方のところに出向き話し相手になり､必要があるときには連絡をもらっています。また､福祉協力員二人一組で､外出の誘いなどしてくれています。私が見守りしている方々は年齢からくる健康の不安を抱えている方が多く､心優しい女性や近所の方と話ができることを望まれており､福祉協力員の方々の見守りや声掛けは住みよいまちづくりに欠かせない活動だと思います。

＊福祉協力員は『地域の見守りボランティア』です。民生委員･児童委員と自治会長の推薦を受けて､宮崎市社会福祉協議会会長が委嘱します。（大宮地区:151名）

大宮地区社会福祉協議会

♪ステキな地区み〜つけた♪（美化活動を通した福祉の心育成）

〜資源回収がんばってます〜

神宮西公民館恒例の資源回収に、小学生（年4回）・中学生（年2回）親子会のお父さんお母さん、こども達も参加いただき、地区の役員の皆さんと一緒に回収に回り、収集した資源物の整理・積載を行い一緒に汗を流しました。

作業終了後、みんなで一緒にカレーライスを食べて散会しますが、格好の三世代交流行事となっています。

〜アッパレ！「大宮中陸上部」清掃に参加〜

去る6月2日に行われた「環境美化の日」に、大宮中学校陸上部38名の皆さんから、下北南自治会長さんに「自分たちも清掃に参加したいのですがいいでしょうか？」と電話があり、実現したものだそうです。中学校の通学路の清掃と排水溝に詰まっている落ち葉や土壌を取り去る作業でした。

地域の清掃活動に参加してくれた中学生の皆さんに感謝！

〜ふれあい美化活動〜

去る7月3日（水）に小学生が下校後、地域の人と一緒に団地内のゴミ拾いをしました。

これは子ども達の環境美化の心や自然保護の意識を養い、郷土愛を育てるという狙いがあります。
また、地域の方々と子ども達が美化活動を通して触れ合うことは地域のきずなを深める大きな力となっています。「地域を愛し地域の一員としての自覚を育てる」という池内小学校の取組のひとつです。

目につかない草むらなどにたくさんのゴミがあり「ゴミひとつ落ちていない団地になるといいね〜」と言う子ども達の声がありました。
次は8月の登館日に行う予定です。

平成24年度　法人募金協力企業のご紹介

共同募金へのご協力ありがとうございました。

記念品の和宏　(株)ヘルスマネイジメント　スナック月　梶原電子機器　細川レディスクリニック
くらもと　奥野歯科　めがねのせき　高木内科胃腸科医院　木下内科医院　尾田整形外科
新城眼科医院　有水ガラス店　横田内科医院　ミント薬局　喫茶ろくろ　(有)山本開発
(有)カギハウス宮崎　うを旬　宮崎花ヶ島郵便局　花ヶ島歯科医院　番番　大迫整骨院
(有)三共しろありセンター　石川クリニック　宮崎日日新聞花ヶ島販売所　山内歯科
(株)宮崎デンソー　(株)東亜自動車　つまがり整形外科医院　フランス菓子Mbleu(エムブルー)
木下動物病院　神宮医院　林歯科医院　いしかわ内科　吟匠庵　東皮膚科　たはら小児科
丸山畳店　西山歯科医院　ヘアサロンまつうら　大宮ラーメン　神宮歯科医院　あやべ動物病院
大宮通信　高鍋信用金庫宮崎北支店　あづまや(洋服)　薩摩蒸気屋（矢野）　パリサンク
野町モータース商会　加藤歯科医院　坂本運輸　椎クリニック　たかぎ耳鼻咽喉科
明林堂書店神宮店　宮崎県月の友　有澤酒店　渡邊謙悟　番美　山本農機商会　K&Kほそかわ
楠元内科胃腸科医院　友絵こどもクリニック　古賀総合病院　(株)増田工務店　平和台病院
介護老人保健施設むつみ苑　大宮小前歯科医院　龍光園　(有)壱岐ビル　渡辺内科医院
金丸敏雄事務所三宝企画　仕出し弁当木村屋　(株)常盤産業　(株)シエリーズ　(株)宮崎大同青果
いりえ歯科・小児歯科医院　石川外科胃腸科医院

愛のご寄附

大宮地区社会福祉協議会への香典返しありがとうございました。
平成25年4月　寄付者　松尾　幸子 様　（故　松尾　浩平 様）
故人様のご冥福をお祈り致しまして、いただきましたご寄附は、
大宮地区社会福祉協議会の活動運営に有効に活用させていただきます。

【熱中症に注意!!あいさつがわりの「暑いですね！」の声かけでお互いに注意しましょう。】
夏真っ盛り、最高気温の更新というニュースが飛び交っています。年齢とともにのどの渇きを自覚しにくくなったり、腎臓の機能が低下するなど、脱水症になりやすくなっています。充分な水分補給に心がけましょう。

大宮公民館だより

大宮地区生涯学習推進協議会（会長：瀬ノ口　隆宏）

　大宮地区の生涯学習推進協議会では、本年も伝統ある「大宮地区ふれあい総合文化祭」と「大宮地区成人式」を柱として推進して参ります。

　「ふれあい総合文化祭」は、この地区の各自治会の公民館での活動や大宮公民館での主催講座、自主講座などの活動の発表の場として、またこの地区の保育園、幼稚園、小中学校の児童生徒の作品展示や発表活動を行います。引き続きまちづくり推進委員会からの支援も受けて「花の寄せ植え講習会」を実施する予定です。

　「大宮地区成人式」は、これからの地域や日本を支えていく若者を祝福する式典として実施します。厳粛な中に女子の和服姿が花を添え、男子の凛々しい姿を引き立てています。成人者に池内小学校の児童の合唱、大宮小学校の児童の演舞、大宮中学校の吹奏楽部の演奏や合唱部の発表を行い、エールを送ります。また、まちづくり推進委員会からの支援を受けて、記念写真を成人者に贈ることも計画しています。

　大宮公民館では、後期公民館講座でこの地域の歴史探訪を4回開設しますので、身近にある歴史を感じ取っていただきたいと思います。お申し込みは公民館までお願いします。

　これからも、大宮公民館を地域の生涯学習の場としておおいに活用して下さい。

～昨年度のふれあい文化祭の様子～

～昨年度の歴史探訪講座の様子～

大宮公民館だより

～平成２５年度の公民館講座の様子～

平成25年度大宮公民館の後期講座が始まりますよ～！

講 座 名	講師名（敬称略）	日　程 曜　日	時間帯 回　数	定員	講 座 内 容
パソコン初級 デジカメ教室	松浦　洋美	10／8～ 11／19 毎週火曜	午前 ６回	16名	（教）デジカメで撮影した写真の整理、文章への取込みを学習します。（文書入力できる方、要デジカメ）
はんさむキッチン！	後藤　彰子	11／30、 12／14 土曜日	午前 ２回	20名	（教）最近は男性も料理をする時代です！家族や友達に自分の料理をふるまってみてはいかがですか？
冬のおもてなし 料理教室	後藤　彰子	12／4、 12／18 水曜日	午前 ２回	20名	（教）冬は何かと人が集まることが多くなる季節、ちょっとしたおもてなし料理で会話も弾みます！
大宮歩きたい！ （歴史散策）	瀬ノ口隆宏 他	10／8～ 11／19 隔週火曜	午後 ４回	20名	秋の爽やかな季節を楽しみながら、大宮の歴史を学び、訪れてみませんか？
初めての陶芸教室	瀬尾　哲代	11／7、 11／21 木曜日	午後 ２回	20名	（教）土の感触を楽しみながら、自由な発想で陶器作りを楽しもう！
珈琲しま専科	濵﨑　宏嗣	11／22、 12／ 6 金曜日	午前 ２回	20名	（教）家庭で気軽にできる、おいしいコーヒーの入れ方などを楽しく学でみませんか。

【お申し込み方法】 応募の時期（8月中旬ごろ）になりましたら往復ハガキで必要事項（住所・氏名・年齢等）を記入し、下記あて先までお申し込みください。

【お申し込み先】 〒880-0035　宮崎市下北方町下郷6101
大宮公民館あてまで！

大宮公民館だより

平成25年度 大宮地区生涯学習推進協議会役員をご紹介いたします。

平成２５年度大宮地区生涯学習推進協議会総会が6月9日（日）開催され、平成２４年度事業報告、収支決算報告並びに平成２５年度役員、主な事業計画、予算案等の協議を行い、原案どおりご承認いただき、新年度がスタートしました。本年度の役員の方々をご紹介いたします。

本年も役員の方々を中心に大宮地区ふれあい総合文化祭、平成２６年大宮地区成人式等を実施していきます。よろしくお願いいたします。

また、地域の皆様方には日頃より公民館活動に深いご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。これから、文化祭、成人式の準備等何かとご協力をお願いすることが多くなりますが、なにとぞよろしくお願いいたします。

平成25年度 大宮地区生涯学習推進協議会役員

役職名	氏　名（所　属　団　体）
会　長	･瀬ノ口　隆宏（花ヶ島自治会副会長）
副会長	･時任　孝俊（平和が丘自治会長）　･井野　ミサヲ（神宮東自治会文化部） ･頼　周史（青少年育成協議会副会長）
理　事	・坂元　昌訓（大宮地区自治会連合会長、下北方町南区自治会長） ・池田　清治（下北方町東区自治会長）　・坂本　道信（南方町自治公民館長） ・矢野　紘史（平和が丘自治公民館長）　・黒木　建紀（下北方南豊寿会会長） ・山村　吉夫（大宮地区民生委員児童委員協議会長） ・白川　智（大宮地区社会福祉協議会長） ・西　國良（大宮地区老人クラブ連合会長） ・小岩屋　敏（神宮北自治会長）　・加行　進（大宮小学校ＰＴＡ会長） ・吉村久美子（大宮小学校長）　・太田　真弓（六月踊り保存会長） ・内村　瑞代（花ヶ島幼稚園長）　・松木　朋子（南方保育園長） ・井上　美知（池内町婦人会長）　・武田　洋一（自主教室代表） ・山本　文子（自主教室代表）　・厚地　昭子（自主教室代表）
監　事	･石山　礼三（いずみ幼稚園長）　･永井　道文（平和が丘幼稚園長）

平成25年度 大宮地区生涯学習推進協議会の主な事業のご案内

○　６月　９日（日）大宮地区生涯学習推進協議会総会　《大宮公民館》
○　８月２１日（水）平成２６年大宮地区成人式第１回実行委員会　《大宮公民館》
○　９月１２日（木）第３０回大宮地区ふれあい総合文化祭第１回実行委員会　《大宮公民館》
○１０月１０日（木）　同上　第２回実行委員会　《大宮公民館》
○１１月　２日（土）　同上　前日準備　《大宮公民館》
○１１月　３日（日）第３０回大宮地区ふれあい総合文化祭開催　《大宮公民館》
○１２月　５日（木）平成２６年大宮地区成人式第２回実行委員会　《大宮公民館》
○　１月１１日（土）　同上　前日準備　《大宮中学校》
○　１月１２日（日）平成２６年大宮地区成人式開催　《大宮中学校》
○　２月１５日（土）平成２５年度生涯学習推進・青少年育成両協議会合同研修会《大宮公民館》
○　３月　中旬　平成２５年度生涯学習推進協議会会計監査　《大宮公民館》

特別寄稿

「生き物たちから学ぶこと」

大淀川学習館　副館長　小玉　宏

私が大淀川学習館に赴任してまもなくのことです。かつて当館に勤務されていた尊敬する大先輩の理科の先生から、生き物についてとても興味深い話をうかがいました。今回はその中から２つの話をみなさんにご紹介させていただきます。

【命のバトン】

モンシロチョウは何百もの卵を産み、それらが幼虫になる前に死んでいきます。

幼虫は、成虫になるまでの過程で、他のたくさんの生物の生きる糧として食べられてゆきます。そして、残ったほんのわずかが成虫になり、次の世代へバトンを渡していくのです。

もしも、４月に１つがいのモンシロチョウが４００の卵を産卵し、それらがすべて成虫になったと仮定し、それらがまた産卵し、それらすべてが成虫になっていったと仮定すると、モンシロチョウの成虫が途絶える１１月に、最後に飛んでいるモンシロチョウの死がいは、なんとトラック何千台分もの量になります。

このトラック、大淀川学習館から一列に並べていくと、その列は延岡市まで達するほどの長さになるのです。

また、モンシロチョウの死がいを羽を広げてきれいに敷き詰めていくと、いったいどれくらいの面積になると思いますか？

宮崎県が埋まる？とんでもない！西日本すべてが埋まってしまうんです。

モンシロチョウは、子孫を残すために数で勝負します。親は卵に遺伝子だけを託し、子を見ることも育てることもなく死んでいきます。

ヒトは、子どもを大切に守り育てていくことで子孫を残す勝負をします。そうやって、何千年もの間、私たちは命のバトンを受け継いできたのです。

親が、そして私たち教師が子どもに対して負わなければならない責任は、そうやって考えていくと、たいへん重いものである、と言えます。

ハ虫類までは、生まれた子の面倒を見ません。鳥類から初めて子の面倒を見るようになります。ホ乳類である私たちヒトは、親は子を見捨ててほったらかして、子が勝手にすくすくと育っていく、ということは生物の仕組みという観点から見て自然の摂理に反すること、やってはいけないこと、なのです。

自分たちに当てはめて考えてみてください。子が成人して、ああこれでやっと子育てから解放される、あとは知ったことではない、とはいかないでしょう。孫の誕生を子ども以上に喜ぶのは周知の通りです。

ヒトは、次の世代へ命のバトンを渡すときに、数ではなく時間で勝負します。

親は、子どもが生まれてから独り立ちするまでに、本当にたくさんの、数え切れないほどのことを教え育てていきます。

いつからでしょう、初めは子どもができるようになることだけを見つめて、できないことができるようになることが大きな喜びで、一生懸命応援していたあの頃から、いつしか我が子のできないことばかりに目がいってしまい、
「こんなこともできないの？」
「はやくしなさい」
「いつまで時間かかってるの」
という言葉を子どもにぶつけてしまっている自分に変わっていったのは…。親の子どもに向けるまなざし、親の背中がどれほど子どもに影響を与えているか…。

モンシロチョウを育てながら、幼虫が葉っぱをバリバリと食べているのを眺めながら、ふと、そんなことを考えてしまうんです。

【「虫嫌い」は遺伝する】

昆虫館などの施設に勤めている人たちの研究会の中で、最近の子どもたちが「虫離れ」して「虫嫌い」になってるんじゃないか？という話題になりまして、保育園生や幼稚園生を対象にアンケート調査を実施したことがあったんだそうです。

まあ、調査対象が小さなお子さんですから、「虫が好きですかー？」って聞く程度の簡単なものからスタートしたんですけど、みなさん「好きー！」と答えてくれて、ホッと胸をなで下ろしてたんです。小さな子どものうちは、まだまだ虫好きの子が多いんだな、って。

ところが、あるひとつの園だけ「好きー！」って答える子どもが極端に少なかったんです。

なんで？と思ってよくよく調べてみると、虫を手に乗せる体験の時にですね、カブトムシの幼虫を見た先生が「キャー！」と大声で叫んでいたことが分かったんです。

子どもたちはその先生を見て、「虫は気持ち悪い存在」「虫は自分に近づけたくない存在」だということを、知らないうちに学習してしま

っていたんです。
　考えてみればこの結果、恐ろしいことですよね。
　そして、虫が嫌いって子どもを追跡調査していくと、例外なく母親が虫嫌いであることが判明したそうです。虫嫌いは「遺伝」していくんです。
　さらに調べていくとですね、虫って、自分から採りに行くときにはＯＫな存在なんだそうです。
だけど、勝手に自分のテリトリーに入ってくるのはダメなんです。
　さらに、動きが速くて、しかもどこに動くか予測困難なときに、ダメっていう度合いがすごく高くなるんだそうです。
　ゴキブリなんかその筆頭ですよね。しかも、ゴキブリが飛んできたらもう最悪ですよね。
　もちろん、危害を加えるもの、あるいは危害を加えそうなものもダメなんだそうです。
　そんな興味深いお話をうかがって、ふと、自分の体験を思い出したんです。
　私、以前、山奥の僻地の学校に勤めていたことがあるんですけど、そこは山村留学制度を取り入れている中学校でですね、県内だけではなくて、全国から山村留学生がやってきます。
　その中でですね、もう虫が大嫌いで、ゴキブリがちょこっと見えただけで大声で泣き叫ぶ女の子が留学してきたんです。
　なにしろ山の中ですから、もう虫だらけですよ。で、最初は大声で泣きわめいていたんですけど、周りはみんな平然としてますよね。
　ゴキブリとか出てきたら、スリッパとか新聞紙を丸めたのとかでバチッ！と叩いてたんです。
　ムカデが出てこようがスズメバチが出てこようが、全部バチッ！ですよ。
　１年たったらですね、その子も平気で新聞紙を丸めて叩いていました。しかも走って追いかけて叩いていました。
　親や身近な大人の影響って、ものすごく大きいんですね。よくよく気をつけんといかんなあ、って考えさせられました。

【徒然草】

確か小学校高学年か中学生の時だったと思う、もう40年以上前の話。寝転んで本を読んでいた。横で母がTVを見ていた。やっと自宅のTVがカラーになったばかりの頃だったと記憶してる。何気に母がつぶやいた・・・「この人、超大物なのに威張ってないよね、偉いよねぇ～」。顔を上げてTVの方を向いた。海の見える場所だった。新人の女子アナがインタビューしていたらしい。母が言うには、「相手が誰でもちゃんと敬語で答えるんだよ、すごい俳優さんなのに」「へえ～そうなんだ」って思った。石原裕次郎という俳優だった。続けて母が言った。「あの二人も一緒だよね」「誰の事？」「長嶋と王」・・・この日から、三人は自分にとって特別な人になった。TVで見るたび『実るほど頭を垂れる稲穂かな』って意味を実感させてくれた人たちだった。長嶋茂雄氏と王貞治氏、巨人とかプロ野球とか、そういう概念を超えた所にいるように思う。超の付くアンチ巨人の自分だがこの二人は別格だ。「太陽にほえろ」で若者にも浸透した石原裕次郎氏、残念ながら亡くなってしまったが多くの人の心に生きている俳優だ。
母の一言がずっと脳裏に残っている。「この人たち、他人の悪口を言わないんだよねぇ～」。
『喝！』でおなじみの張本勲氏がTVで言っていた事がある。
「ワンちゃん（王氏）と一緒に飲んでいて、自分が野球界の話で他人の悪口言っても、彼は黙って聞いているだけで決して同調してこないんだよね。まして自分から他人の悪口を絶対言わないんだよ、そういう人なんだ彼は」。口から出た言葉は取り消せない、いつか自分の身に跳ね返ってくる。悪口を言わない人は、悪口を言われない。悪口は天につばするのと同じだよ・・・そう教えてくれた。凡人には到達できない領域の大スターたちだが、少しでも近付く努力はしたいものだ。大人になって「実るほどふんぞり返る稲穂かな」っていう人を沢山見てきた。今でもチラホラ・・・。
大宮の子どもたち、君たちも大人になるにつれいろいろな肩書を身に付けていくだろう。肩書は服と同じで、脱いだら終わり。要は裸の自分がどれだけの人間になるか、っていう事だ。どうか覚えていて欲しい。言葉の持つ『恐ろしさ』を。そして何より、本当に偉大な人は実に謙虚だということを・・・。

『編集後記』
　今年は、から梅雨かと思わせる時期もありましたがいつのまにか梅雨前線が腰を据え、例年のようなうっとうしい季節の中、『絆』の編集作業に没頭しています。印刷が上がるころには、肌をジリジリと焼く太陽の季節になっているはずです。
　40年ぶりのUターン帰郷でまわりは知らない人ばかり、どうなることかと心配しながら1年が過ぎようとしている今、ようやくみなさんの名前と顔が一致するようになりました。
　と同時に、多くの方が地域を少しでも住み良い「まち」にしようと懸命に活動されていることにも感動します。
　ただもうすこし、活動される方々の広がりができれば、もっと素晴らしい『コミュニティ大宮』になるはず、なって欲しいと思いながらこの『絆』を編集しております。（Y）